東邦大学医学部
卒後臨床研修／生涯教育センター

2025 年度 東邦大学医学部卒業生の
初期臨床研修先へのアンケート調査結果報告

東邦大学医学部では、本学卒業生の初期臨床研修先へのアンケート調査を実施し、本学卒業生が、東邦大学の人材養成、教育研究上の目的とディプロマ・ポリシー（卒業時に身につけるべき能力）に基づいて「より良き臨床医」として成長しているかを把握することで、東邦大学医学部の医学教育プログラムの改善に役立てています。

＜アンケート調査概要＞

1. 調査目的
   東邦大学医学部の医学教育プログラム評価のため

2. 調査期間
   2025 年 8 月～9 月

3. 調査対象者
   入職 1 年目（2025 年 4 月入職）の、本学を卒業した初期研修医。対象の研修医を指導医、メンター等が評価する。

4. 調査方法
   東邦大学 3 病院の研修管理部門、他大学病院の卒後臨床研修センターあるいは臨床研修病院の研修プログラム責任者等に依頼し、対象者の指導医、メンター等に Google form で評価・回答していただく。

5. 回答方法
   本学卒業の初期研修医 1 年目に対して、DP1～DP6 の項目で 5 段階評価（よくできている：5、できている：4、許容できる：3、できていない：2、まったくできていない：1）を入力していただく。

＜2025 年度の対象施設数・卒業生数・回答率＞

1 年目初期研修医に対する指導医・メンターからの評価の状況

研修病院種別	病院数	調査対象者数	回答数	回答率
東邦大学医療センター	3	34	27	79.4%
他大学附属病院	15	27	3	11.1%
連携病院	5	6	2	33.3%
臨床研修病院	43	44	15	34.1%
合計	66	111	47	42.3%

＜2025 年度の調査内容＞

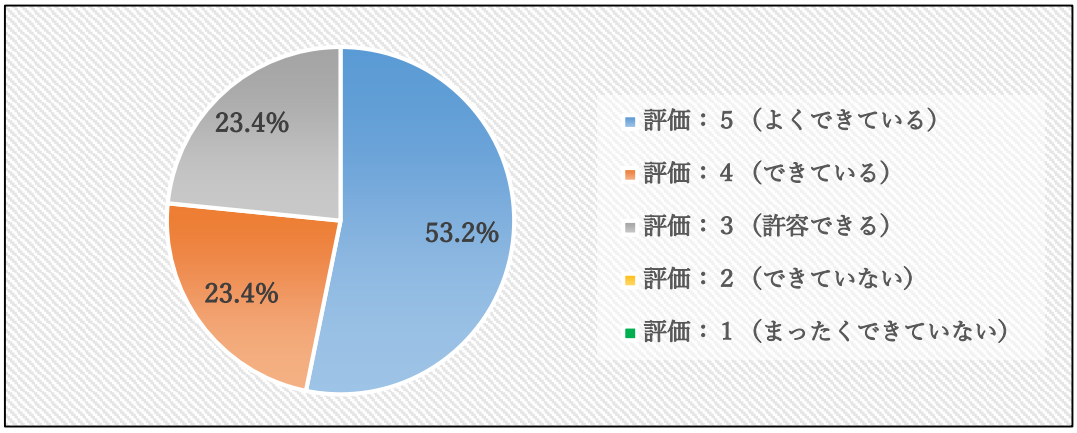
「2025 年度 東邦大学医学部卒業生の初期臨床研修先へのアンケート調査」

DP1-1 医学的知識	本学の卒業生は、十分な医学的（基礎的・臨床的・社会医学的）知識を修得できていると思われますか。	各項目において 5 段階評価を付けていただく。 5（よくできている） 4（できている） 3（許容できる） 2（できていない） 1（まったくできていない）
DP1-2 医学的知識	本学の卒業生は、適切な臨床推論に基づいて診療ができていると思われますか。	
DP2-1 実践能力	本学の卒業生は、社会人としてふさわしい態度をとることができていると思われますか（メディカルスタッフとのコミュニケーション、ルールの厳守など)。	
DP2-2 実践能力	本学の卒業生は、適切な診療を行うための、基本手技（身体診察、基本処置）ができていると思われますか。	
DP3-1 患者対応能力	本学の卒業生は、患者から信頼を得るコミュニケーションがとれていると思われますか。	
DP3-2 患者対応能力	本学の卒業生は、患者の意志を十分尊重していると思われますか。	
DP4-1 科学的探究心	本学の卒業生は、患者の問題点を自ら（最新のガイドライン、論文検索などにより）追求できていると思われますか。	
DP4-2 科学的探究心	本学の卒業生は、自己研鑽を続ける行動（学会発表、専門医取得の準備など）ができていると思われますか。	
DP5-1 社会・地域への貢献	本学の卒業生は、医療資源（保健・福祉・医療）を理解し、適切に連携できていると思われますか。	
DP5-2 社会・地域への貢献	本学の卒業生は、地域医療に参加し、プライマリ・ケアや予防医学を実践できていると思われますか。	
DP6-1 国際性	本学の卒業生は、患者の背景（人種、文化、LGBTQ、宗教、貧困など）に十分配慮した医療が実践できていると思われますか。	
DP6-2 国際性	本学の卒業生は、英語による、医療情報の取得および医療の実践ができていると思われますか。	
その他	本学の卒業生を見て、本学の教育を充実・改善した方が良いと思われる事項がありましたらご記載ください。	自由記載

＜2025 年度の結果＞

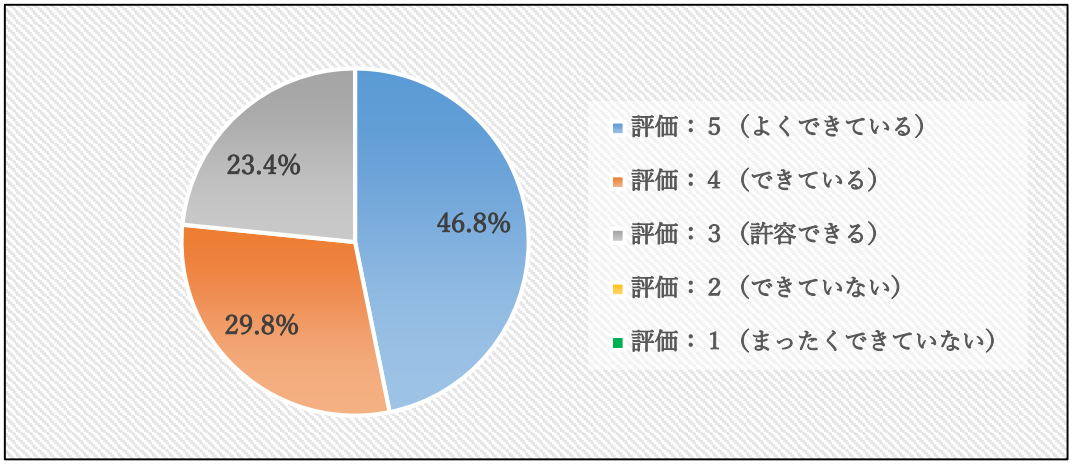
DP1-1 医学的知識

本学の卒業生は、十分な医学的（基礎的・臨床的・社会医学的）知識を修得できていると思われますか。



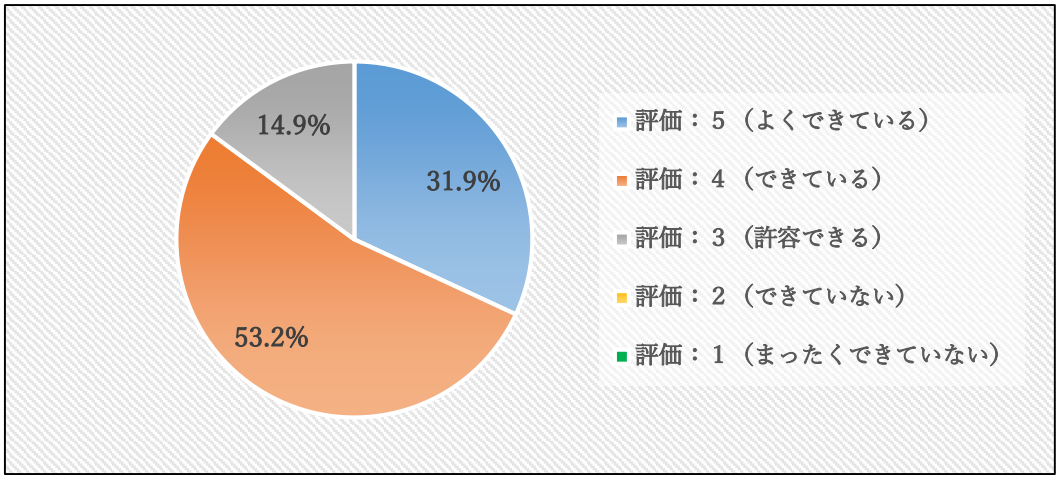
DP1-2 医学的知識

本学の卒業生は、適切な臨床推論に基づいて診療ができていると思われますか。



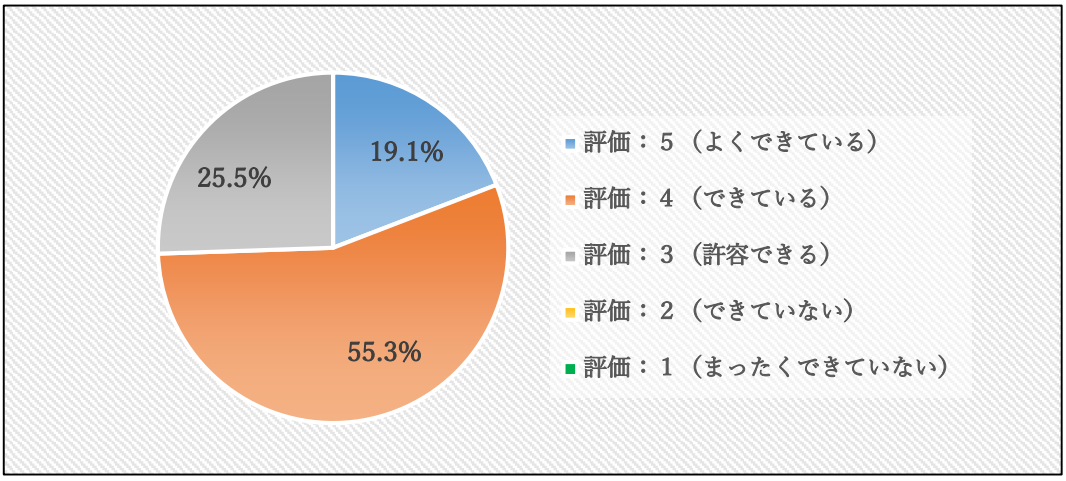
DP2-1 実践能力

本学の卒業生は、社会人としてふさわしい態度をとることができていると思われますか（メディカルスタッフとのコミュニケーション、ルールの厳守など）。



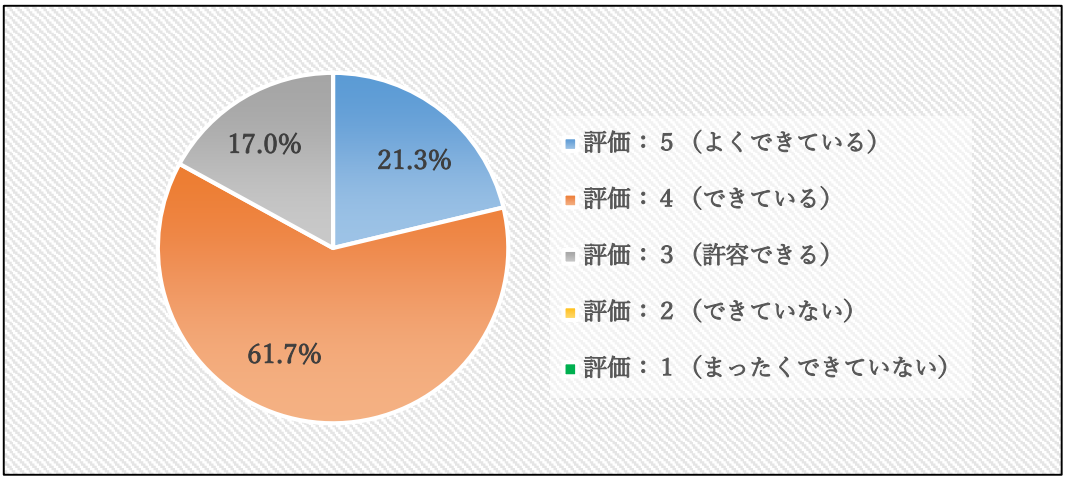
DP2-2 実践能力

本学の卒業生は、適切な診療を行うための、基本手技（身体診察、基本処置）ができていると思われますか。



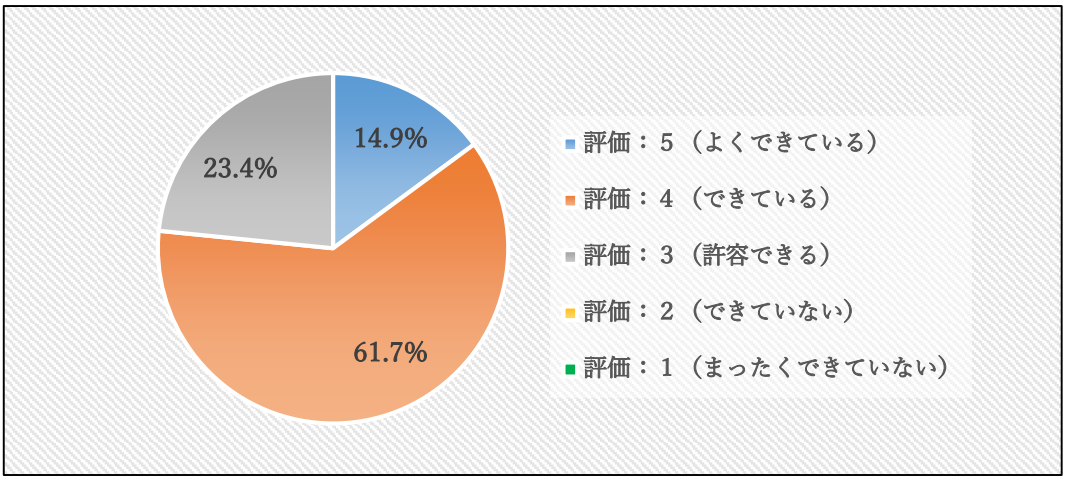
DP3-1 患者対応能力

本学の卒業生は、患者から信頼を得るコミュニケーションがとれていると思われますか。



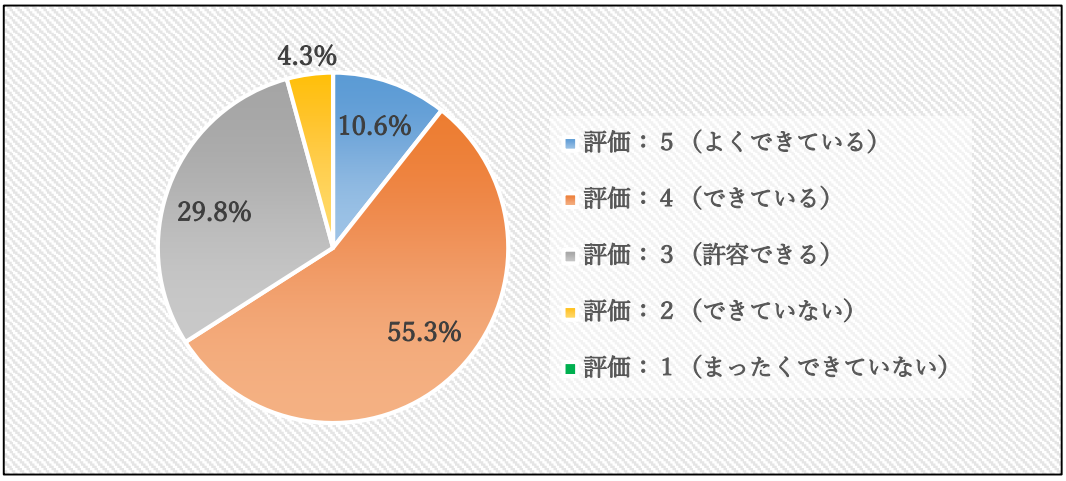
DP3-2 患者対応能力

本学の卒業生は、患者の意志を十分尊重していると思われますか。



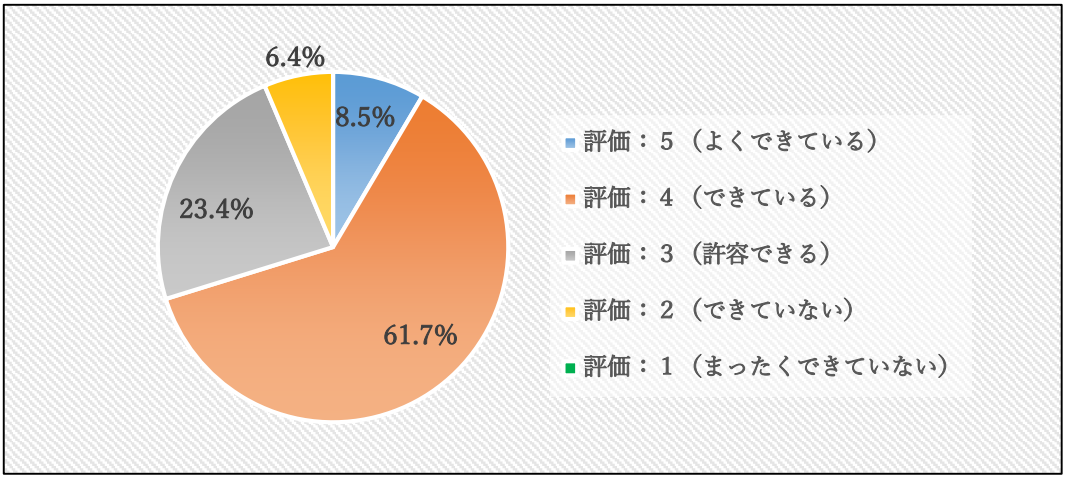
DP4-1 科学的探究心

本学の卒業生は、患者の問題点を自ら（最新のガイドライン、論文検索などにより）追求できていると思われますか。



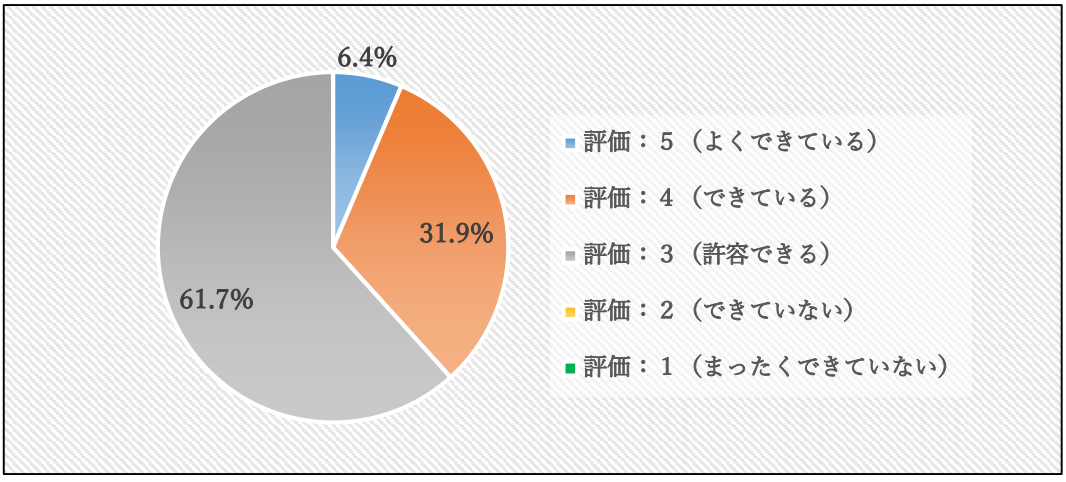
DP4-2 科学的探究心

本学の卒業生は、自己研鑽を続ける行動（学会発表、専門医取得の準備など）ができていると思われますか。



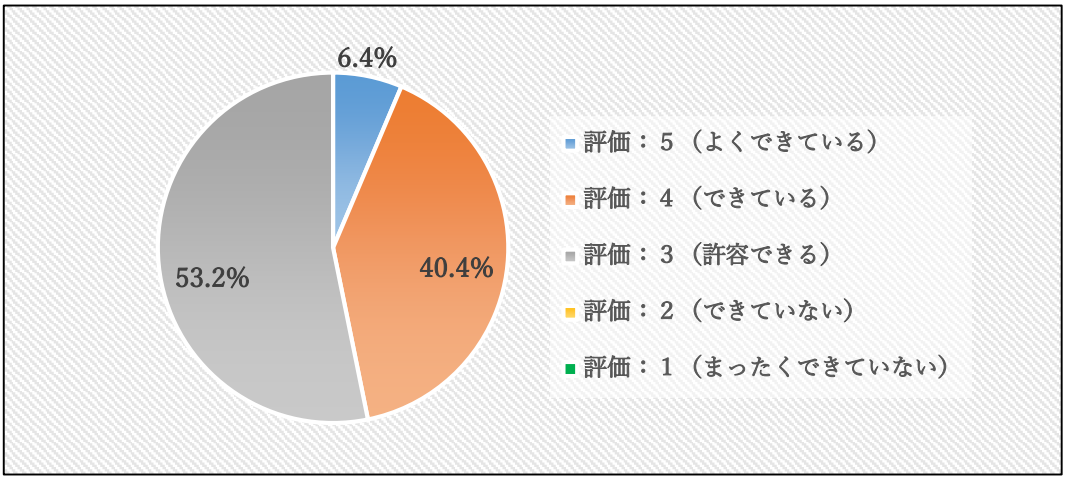
DP5-1 社会・地域への貢献

本学の卒業生は、医療資源（保健・福祉・医療）を理解し、適切に連携できていると思われますか。



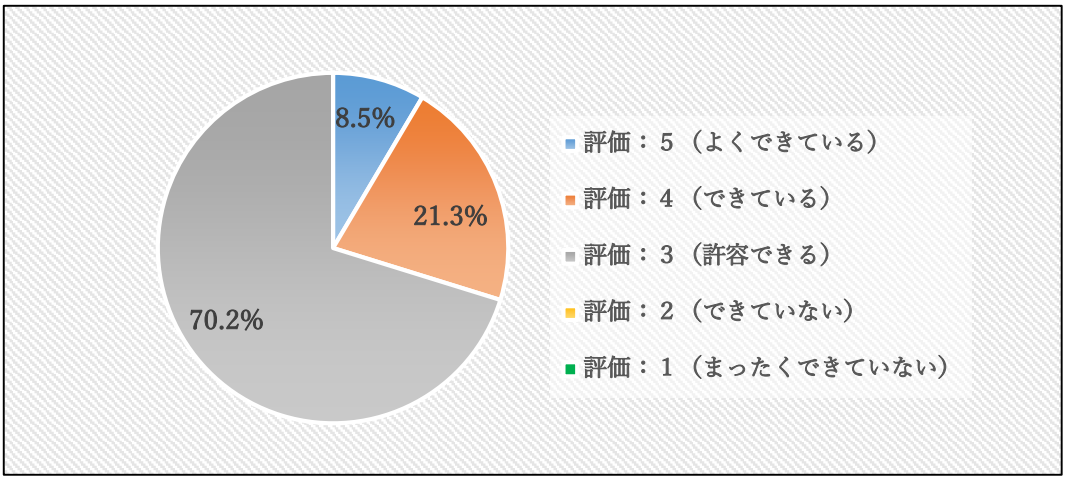
DP5-2 社会・地域への貢献

本学の卒業生は、地域医療に参加し、プライマリ・ケアや予防医学を実践できていると思われますか。



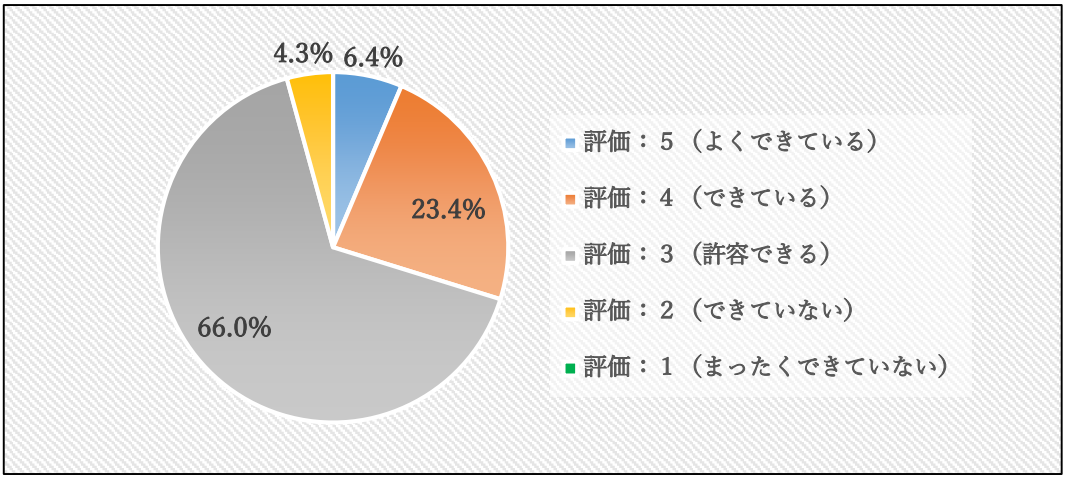
DP6-1 国際性

本学の卒業生は、患者の背景（人種、文化、LGBTQ、宗教、貧困など）に十分配慮した医療が実践できていると思われますか。



DP6-2 国際性

本学の卒業生は、英語による、医療情報の取得および医療の実践ができていると思われますか。



その他

本学の卒業生を見て、本学の教育を充実・改善した方が良いと思われる事項がありましたらご記載ください（自由記載)。

特に問題は感じません。地域医療の項目はまだ機会がなく評価できません。
昨年度の研修医と同様に、今年も将来有望な研修医を育成して頂きました。大学に感謝しかありません。
もの静かだが、もう少し積極性があればいいと思う。
まだ初期段階の評価になります。熱心に自己研鑽されております。
積極性とコミュニケーション能力の開発が、当学含め共通の解決すべき課題と考えます。
DP5 および DP6 に関しては評価の機会がなく「評価：3」としています。
特になし。(1 名)